

公益法人管理・財政局事業計画表

委員長名 山賀 貴美 印

<p>【テーマ】 公益法人として、正確な財政管理と実務でLOMの根幹を支えます。</p> <p>【主旨】 我々秋田JCは公益法人として明るい豊かなあきた実現という目的のため運動を続けてきました。今後も地域から必要とされる存在として、信用度の高い組織づくりが必要です。 公益法人についての知識を広め、公益事業や財政面での有益な情報を各委員会と共有し活用するとともに、財政状況を把握・管理し、正確な実務を行うことで、LOMのより良い運営を目指します。</p>	<p>【具体的内容】 (1)公益法人格についての職務全般を行います。 (2)仮会員及び入会5年未満の会員を中心に公益法人格についての基礎知識を伝えます。 (3)公益法人として活動していくために必要な知識を伝えます。 (4)理事会に提出する各種資料のコンプライアンスチェックを行います。 (5)各委員会が行う事業の予算及び決算の確認を行います。 (6)財政状況の管理とLOM予算の精査、決算の精査及び月次で会計報告を行います。 (7)各委員会と協力しながら各種助成金・補助金の情報収集を行い活用します。 (8)秋田ブロック大会へメンバーの参加促進を行い、出向者の支援と各地会員会議所メンバーとの交流で絆を深めます。</p> <p>【進め方】 (1) (4) (5) 理事会開催前に対象委員会へ提出を求め、事前に審査・確認を行います。 (2) 局にて企画、実施します。 (3) 書類作成など公益法人として活動する上で必要な知識を深める場を企画、実施します。 (6) 財政状況の定期的な記載及び管理、報告を行います。 (7) 関係機関等から情報収集を行い、対象委員会への告知及び情報交換を行います。 (8) 事務局と合同で企画・設定を行います。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1) 理事会にて経過並びに共有が必要な情報を報告します。 (2) 公益法人基礎講座にて行います。 (3) 公益法人についての勉強会にて行います。 (4) (5) 理事会にて報告します。 (6) 理事会及び総会にて報告します。 (7) 理事会及び委員会にて随時報告します。 (8) 担当例会にて行います。</p>
---	---

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
主要事業スケジュール				通常総会 京都会議					ASPAC (クワパート)	ブロック大会 (横手) サマコン		青年フォーラム (水沢)	全国大会 (埼玉中央)	世界会議 (マニラ)		通常総会		
例会担当							例会準備			担当例会								
委員会年間スケジュール	前年度より引き継ぎ	助成金等 情報収集 及び報告 公益につ いての委 員会・行 政との対 応(随時)	公益定期 書類(事 業計画 書)の作 成と提出	月次会計 報告 (毎月) 公益法人 基礎講座 準備			公益法人 基礎講座		公益法人 基礎講座 準備	公益法人 基礎講座 準備		公益法人 基礎講座	公益法人 基礎講座			年次決算 書作成	会計監査	
	LOM予 算作成	委員会等 事業予算 及び決算 確認・コ ンプライ アンスチ ェック (随時)							公益法人 について の勉強会 準備			公益法人 について の勉強会					公益定期 書類(事 業報告 書)の作 成	

総務広報委員会事業計画表

委員長名 佐藤 宏喜 印

<p>【テーマ】 秋田 J C の魅力を市民へ積極的に発信し、協力の輪を広げよう</p> <p>【主旨】 秋田 J C は 1952 年の発足以来、住み暮らすあきたに明るい豊かな社会を実現するべくさまざまな事業を展開し、活動を続けてきました。 創立 65 周年を迎える秋田 J C が、今後さらに地域に根差したまちづくり運動を展開していくためには、我々の活動への市民からの理解と信頼をこれまで以上に高め、その協力の輪を広げる必要があると考えます。 そのために、我々の活動の基盤となる諸業務を正確着実に遂行するとともに、我々の J C 運動の趣旨目的や意気込み、そして実績をこれまで以上に積極的に広く市民に向けて情報発信することで、LOMメンバーが J C 運動をより展開しやすい環境の醸成を目指します。</p>	<p>【具体的内容】 (1) 理事会の議事録を作成します。 (2) 基本資料・会員名簿の作成をします。 (3) J C 運動・活動についての広報を推進し、秋田 J C の魅力を積極的に P R します。 (4) 2017 年度の J C 運動・活動を振り返り、2018 年度へ紡ぐ場を設営・運営します。 (5) 2017 年度の総会の設営・運営を行い、議事録を作成します。</p> <p>【進め方】 (1) (2) (5) 委員会で行います。 (3)-① J C ニュースの企画、編集、発行を行います。 (3)-② ホームページの更新、運営を行い、発信内容の拡充を図ります。 (3)-③ SNS や各種メディアを多角的に活用し、J C 運動をリアルタイムで広く市民に発信します。 (4) 常任理事と連携し、日時・会場を選定の上、委員会で行います。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1) 毎月の理事会にて報告します。 (2)-① 基本資料をホームページで公開します。 (2)-② 会員名簿を発行します。 (3)-① 毎月発行します。 (3)-②③ 随時更新します。 (4) 12 月例会にて行います。 (5) 2018 年 1 月開催の通常総会にて行います。臨時総会については随時対応します。</p>
---	---

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
主要事業スケジュール				通常総会 京都会議					ASPAC (7/20-21日)	ブロック大会 (横手) サマコン		青年フォーラム (水沢)	全国大会 (埼玉中央)	世界会議 (7/25-27日)		通常総会
例会担当												例会準備			担当例会	
委員会年間スケジュール	理事会 (候補者 会議を含 む) 議事 録作成	各種広報 手段のデ ザイン・ 内容構成 等の検討	HP の運営 管理及び J C ニュ ースの企 画発信									基本資 料・会 員名簿 の作 成				
	前年度より引き継ぎ		各種メ ディアに よる多 角的情 報発信											総会準備		

会員拡大委員会事業計画表

委員長名 田口 裕也 印

<p>【テーマ】 共に活動する仲間を増やそう！あきたの未来の為に！</p> <p>【主旨】 我々秋田JCは、先輩諸兄から連綿と紡いできた伝統と熱い想いを胸に多くの事業を展開し、市民へ発信して参りました。これからも明るい豊かな社会の実現を目指し、JC運動を継続し邁進していくためには、より多くの仲間を募りLOMを活性化する必要があります。 そこで全メンバーが会員拡大への意識を高めるとともに、会員としての資質を向上させることでLOMを活性化し、地域から信頼される、凛とした組織を強力に拡大します。</p>	<p>【具体的内容】 (1) 全会員が会員拡大の必要性を認識し、一丸となって30名以上の会員拡大を行います。 (2) 入会候補者へJCが持つ魅力やJC活動・運動に対する理解を深めていただき、入会の促進につなげます。 (3) 今後のJC活動・運動や仕事、家庭等に活かすことができるよう、メンバー全員の資質向上を行います。 (4) 仮会員が積極的にJC活動・運動に参加できるようにします。</p> <p>【進め方】 (1)-①入会候補者を各委員会に担当振り分けし、有識者を交えながら会員拡大会議にて進捗状況を確認します。 (1)-②講師を招いて勉強会を実施し、会員拡大につなげるために会員の資質向上を行います。 (2) 講師を招いて勉強会を実施し、入会候補者がメンバーと共にJC活動・運動について学びます。 (3) 講師を招いてコミュニケーションスキルの向上について学びます。 (4) 仮会員にJCの持つ魅力、意義を伝え、今後積極的にJC活動・運動に参加できるようフォローをしていきます。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1)-①会員拡大会議にて行います。 (1)-②担当例会Iにて行います。 (2) 異業種交流会I・IIにて行います。 (3) 担当例会IIにて行います。 (4) JCスクールにて行います。</p>																
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
主要事業スケジュール				通常総会 京都会議					ASPAC (7月イベント)	ブロック大会 (機手) サマコン		青年フォーラム (水沢)	全国大会 (埼玉中央)	世界会議 (7月15日～19日)		通常総会	
例会担当		例会準備	→	→	担当例会 I			例会準備	→	→	担当例会 II						
委員会年間スケジュール	入会希望者募集																→
	前年度より引き継ぎ・拡大会議準備		→	会員拡大 会議													→
	リスト精査		→	異業種 交流会I 準備	→	異業種 交流会I 面接式	→	→	異業種 交流会II 準備	→	→	異業種 交流会II 面接式	→	→	→	→	→
				JCスク ール準備	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
							→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
							→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
								→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
										→	→	→	→	→	→	→	→
													→	→	→	→	→
																	→

地域力向上委員会事業計画表

委員長名 熊谷 寛範 印

<p>【テーマ】 人と人とのつながりを強固なものにして地域力を高めよう</p> <p>【主旨】 現在、秋田を取り巻く社会情勢はそれほど明るくなく、閉塞感を感じるような未来が予想されます。しかし、そんな時代だからこそ、あきたに住み暮らす人びとが地域への関心を高めること、そして人と人が強固につながり、地域活動を行うことが必要であると考えます。 そこで本年度は、市民社会資本の構築を目的として始まった秋田醸しまつりを通じて発信してきた発酵醸造文化と培ったネットワークを活用し、より多くの市民があきたの魅力について学び知識を深めることで、地域への関心を高め、まちづくりに参画することによる地域力の向上を目指します。</p>	<p>【具体的内容】 (1) 公益社団法人秋田青年会議所として、2017年度の活動を発信します。 (2) より多くの市民があきたの魅力の一つである発酵醸造文化を学び、地域への関心を高めます。 (3) 発酵醸造文化の普及拡大を通して、市民、各諸団体、行政を結ぶネットワークを増強し、地域力を高めます。</p> <p>【進め方】 (1) 新年例会を企画・運営します。 (2) (3) 秋田醸しまつり実行委員会を運営します。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1) 担当例会Ⅰとして新年例会にて行います。 (2) (3) 担当例会Ⅱとして秋田醸しまつりを行います。</p>																
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
主要事業スケジュール				通常総会 京都会議					ASPAC (カンパニー)	ブロック大会 (横手) サマコン		青年フォーラム (木沢)	全国大会 (埼玉中央)	世界会議 (イスタンブール)		通常総会	
例会担当	例会準備			担当例会Ⅰ			例会準備						担当例会Ⅱ				
委員会年間スケジュール	前年度より引き継ぎ			実行委員会運営									醸しまつり実施	事業検証			

自然環境継承委員会事業計画表

委員長名 佐藤 功征 印

<p>【テーマ】 ものを大切にする心で、豊かな自然を次代へつなげよう！</p> <p>【主旨】 近年、環境運動が世の中に浸透してきてはいるものの、国民一人あたりのゴミの焼却処分量が世界トップクラスになっていることなど、依然として多くの問題を抱えています。私たちはその現状を認識し、自然環境を後世に遺すために、今後も環境問題と向き合っていかなければいけません。 そこで、身近なところから環境に配慮した生活を推進することで、自然の恵みに感謝し、ものを大切にする心を次代へつなげて今ある豊かな自然環境を継承します。</p>	<p>【具体的内容】 (1) サケの稚魚放流事業を実施して、自然の恵みに感謝する心を育みます。 (2)-①現状の環境運動の問題点を見つめ直し、身近な生活に密着した環境運動を学びます。 (2)-②①を踏まえ、ものを大切にする心を、次世代を担う子供たちに継承します。</p> <p>【進め方】 (1) 行政・他団体と連携して企画・実施します。 (2)-①有識者をお招きし、講演形式の例会を企画・実施します。 (2)-②他団体と連携し、体験型学習形式の事業を企画・実施します。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1) 担当例会Ⅰにて実施します。 (2)-①担当例会Ⅱにて実施します。 (2)-②9月に事業を実施します。</p>															
<p>主要事業スケジュール</p>	10月	11月	12月	1月 通常総会 京都会議	2月	3月	4月	5月	6月 ASPAC (9月イベント)	7月 ブロック大会 (横手) サマコン	8月	9月 青年7フォーラム (水沢)	10月 全国大会 (埼玉中央)	11月 世界会議 (7/25-26/9月)	12月	1月 通常総会
<p>例会担当</p>				例会準備	→	例会準備	担当例会Ⅰ	→	担当例会Ⅱ							
<p>委員会年間スケジュール</p>	前年度よりの引き継ぎ	→						事業の企画検討	事業準備	→		事業実施	事業の検証	→		
	他団体との連携										→					

自立した青少年育成委員会事業計画表

委員長名 船木 祐 印

<p>【テーマ】 青少年の生き抜く力を育み、自立を促そう</p> <p>【主旨】 現在、親の過保護、過干渉により、主体性がなくなり自分で判断できない子供が増えてきております。 変化の激しい現代社会のなかで生き抜くためには、子供たち自身が主体性を持ち自ら考え決断することや、また周りの大人たちも子供との行き過ぎない関わり方を学ぶことが必要です。 世代を超えて共に考えることで、現代社会に適応できる自立した青少年の育成を目指します。</p>	<p>【具体的内容】 (1) 過保護・過干渉が子供に与える影響を深く掘り下げ、子供との関わり方を学びます。 (2) 子供たちが大人と離れた環境で、主体性を持って行動させることで決断力を養います。 (3) 第21回わんぱく相撲秋田ブロック大会の支援を行います。</p> <p>【進め方】 (1) 有識者を招いて、講演形式の事業を企画・実施します。 (2) 他団体と連携して、体験型の事業を企画・実施します。 (3) 秋田ブロック協議会と連携し、実施します。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1) 担当例会Ⅰにて実施します。 (2) 担当例会Ⅱにて実施します。 (3) 随時対応及び報告をします。</p>															
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
主要事業スケジュール				通常総会 京都会議					ASPAC (ワッパース)	ブロック大会 (横手) サマコン		青年フォーラム (水沢)	全国大会 (埼玉中央)	世界会議 (アムステルダム)		通常総会
例会担当					例会Ⅰ準備	→		担当例会Ⅰ	例会Ⅱ準備	→		担当例会Ⅱ				
委員会年間スケジュール	前年度より引継ぎ	→						わんぱく相撲の対応		→			事業の検証・報告	→		

あきたの誇り醸成委員会事業計画表

委員長名 飯塚 努 印

<p>【テーマ】 素晴らしき故郷のため、あきたの誇りを醸成しよう</p> <p>【主旨】 あきたには、調和を重んじ伝えられてきた、歴史や伝統、豊かな自然環境やそこで育まれた食べ物、文化、芸能、そして地域の絆や温かな人柄など、多くの魅力溢れる財産が存在します。そのような素晴らしいあきたが存在するのも、住み暮らす人びとの豊かな人間性と地域を誇りに思う心があったからです。 この素晴らしいあきたを次代につなげていくために、あきたの財産について学び、調和の心を理解することで豊かな人間性を育むとともに、あきたを誇りに思える心を醸成させ、継承していくことを目指します。</p>	<p>【具体的内容】 (1) 大切に守り伝えられてきたあきたの財産について子供たちとともに学びます。 (2) (1) で学んだことを子供たちとともにより深く理解することで、あきたの誇りを醸成します。 (3) 秋田 J C 竿燈会の円滑な運営のための補佐をします。</p> <p>【進め方】 (1) 有識者を交えながら、講演形式の例会を企画・実施します。 (2) 学び気付き得たあきたの誇りについて、子供たちが発信する場を創立 65 周年実行委員会と連携して企画・実施します。 (3) まつり全般に亘り、秋田 J C 竿燈会への支援窓口として協力します。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1) 担当例会 I にて行います。 (2) 担当例会 II として創立 65 周年記念事業にて行います。 (3) 竿燈の練習時及びまつり本番にて行います。</p>
--	--

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
主要事業スケジュール				通常総会 京都会議					ASPAC (クワパート)	ブロック大会 (横手) サマコン		青年フォーラム (水沢)	全国大会 (埼玉中央)	世界会議 (メスチガン)		通常総会
例会担当			例会準備	→		担当例会 I					例会準備	→		担当例会 II		
委員会年間スケジュール	前年度より 引継ぎ	→				事業準備								事業実施	事業検証	
						竿燈会打 ち合わせ			竿燈会補 佐			→				